

令和 7 年度 後期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

目 次

- 1 はじめに

- 2 授業評価の概要
 - 2－1 目的
 - 2－2 実施方法
 - 2－3 自己点検レポート
 - 2－4 公開

- 3 授業評価の集計結果

- 4 対象科目一覧

- 5 資料
 - 5－1 授業評価 調査票
 - 5－2 自己点検レポート

1 はじめに

本報告書は、令和 7 年度後期に実施した「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果を取りまとめたものである。授業評価は、全教員（非常勤講師を含む）の担当科目を対象として実施した。

授業評価アンケートはオンラインで実施し、各教員が Google Classroom を通じて学生に配信した。アンケートは無記名で行い、各授業科目のアンケート結果を Google フォームの機能を用いて集計した。

今年度は調査項目の見直しを行い、総項目数を昨年度より 2 項目減らした 11 項目とした。新規項目として「能動的学修」「知識・技能」を追加し、「出席」「教材適正」「教育環境」「シラバス」を削除した。今回の見直しは、円滑な運用と教育の質向上を図るため、内容を精査して実施したものである。

アンケート実施後は、自己点検レポートの提出方法を Google フォームに統一することで、項目ごとの内容が整理しやすくなるとともに、作業の効率化にも寄与した。

2 授業評価の概要

2-1 目的

本授業評価は、学生の学修状況や授業運営に対する意見を把握し、授業改善につなげることを目的として実施している。授業内容の理解度、授業運営の適切さ、学修の成果などを多面的に確認し、継続的な質向上を図るための基礎資料として位置づけている。評価項目は、学生自身の学修状況の自己評価と授業内容・方法に対する評価で構成されており、自由記述欄も設けている。

2-2 実施方法

授業評価は、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象として、前期・後期の授業終了時に無記名で実施している（5-1「授業評価 調査票」参照）。評価項目は全学共通のものをを用いている。回答はフォームで行い、学生は授業内容や学修状況などについて入力し、自由記述欄に意見や感想を記述できる。フォームで回答された結果は速やかに集計され、グラフ化されたデータとして教員にフィードバックされる。

2-3 自己点検レポート

全教員は、授業評価結果をもとに全授業について自己点検レポートを提出する（5-2「自己点検レポート」参照）。レポートはフォームで作成し、授業の成果や課題、改善に向けた取り組みを 100～200 字程度で記述することで、授業改善の継続的なサイクルを形成している。

2-4 公開

大学全体の授業評価結果は、大学 WEB で公開しており、学生や保護者を含む外部の方も閲覧できるようにしている。これにより、授業改善の取り組みを広く共有し、教育活動の透明性を確保している。

3 授業評価の集計結果

令和7年度後期の授業評価全体の結果は、6の「能動的学修」を除くすべての設問で肯定的な1・2の回答が90%を超えており、全体として評価は高いといえる。調査票件数は1807件である。

肯定的な1の回答が特に高かったのは、「話し方」「対応」であり、「話し方」は70.7%、「対応」は73.8%が1の回答となった。本学の少人数制による丁寧な指導が修学環境において功を奏していることがうかがえる。また、「意欲的」「興味・関心」「予習・復習」「理解度」「知識・技能」「満足度」でも1の回答が60%台となり、授業への意欲や理解に関する評価が安定して高かった。特に、「意欲的」は前期の96.0%から後期は96.3%となり、前期・後期を通じて最も高い評価項目であった。学生の授業への取り組み姿勢が一貫して高い水準で維持されていることがうかがえる。「目標達成」については、1と2の回答が93.0%となり、前期の91.6%から上昇し、学生が目標に沿った学修内容を概ね習得していることが見て取れる。

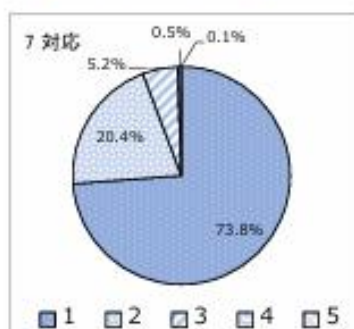
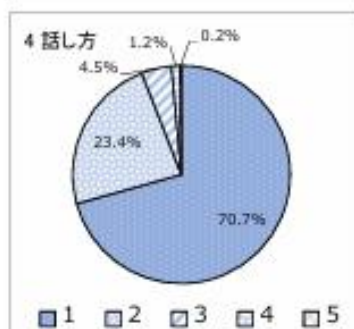
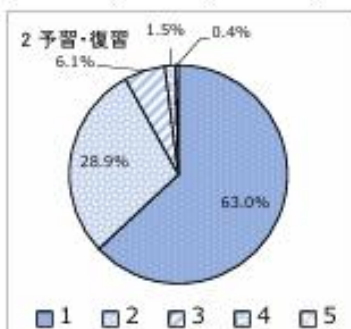
令和7年度の新規項目である「知識・技能」と「能動的学修」については、前期・後期で評価の傾向が異なっていた。「知識・技能」は、本学のディプロマ・ポリシーに位置づけられている重要な学修成果であり、教育課程においても専門的知識と技能を育成する科目群を体系的に配置している。評価は、前期の94.8%から後期は96.2%へと上昇し、教育内容の理解度や学修成果の可視化がさらに進んだことが確認できる。背景として、前期・後期を通じて安定して高水準で推移している学生の意欲や取り組み姿勢がこうした成果に寄与していると考えられる。一方で、「能動的学修」は、本学が教育課程で重視する主体的な学びや課題発見・解決力に関わる領域であり、文部科学省が推進する主体的・対話的で深い学びの方針とも整合している。評価は、前期の71.8%から後期は77.2%へと改善が見られたものの、中庸や否定的な回答が依然として多く、授業によって取り入れ方に差があることがうかがえる。これは今後の学修の質を検討する上で重要な課題である。

総合すると、後期の授業評価は多くの項目で前期より高い水準を維持しており、教育内容の浸透や授業運営に関する評価が着実に向上した。とりわけ、新規項目である「知識・技能」では高い評価が得られ、学修成果の可視化が進んでいる。一方で、「能動的学修」については前期より改善が見られるものの評価が分かれており、授業によって取り入れ方に差があることが示された。今後も、授業全体の質向上に向けた取り組みを一層進めていくことが求められる。

令和7年度後期 授業評価調査票 集計結果

調査票件数: 1807

選択肢	1 意欲的	2 予習・復習	3 興味・関心	4 話し方	5 理解度	6 能動的学修	7 対応	8 知識・技能	9 目標達成	10 満足度
1	1219	1139	1218	1273	1183	1048	1332	1119	966	1243
2	520	522	504	421	504	344	369	617	714	472
3	54	110	74	81	86	247	94	58	112	78
4	11	28	7	22	23	79	9	8	13	9
5	3	8	3	4	8	86	1	3	1	1
	1807	1807	1806	1801	1804	1804	1805	1805	1806	1803



4 対象科目一覧

令和7年度後期 授業評価調査のための授業科目番号一覧

科目番号	講義名	担当教員	自己点検	学科
基礎科目				
1002	文学	松浦	○	保育・服飾美術
1004	日本国憲法	矢吹	○	保育・服飾美術
1005	教育学	秋川	○	服飾美術
1006	生命科学	土肥	○	保育・服飾美術
1008	心理学	澤田	○	保育・服飾美術
1013	情報機器の操作Ⅱ	大原	○	保育
1015	情報処理演習Ⅱ	大原	○	服飾美術
1017	英語Ⅱ（コミュニケーション）	松浦	○	保育
1018	英語Ⅱ（コミュニケーション）	松浦	○	服飾美術
1020	英語Ⅳ	松浦	○	保育・服飾美術
1023	健康科学概論（1/4）	濱田	○	保育・服飾美術
1024	スポーツ（3/4）	濱田	○	保育・服飾美術
保育学科				
2002	教育原理	小久保	○	保育
2005	子ども家庭支援論	宮崎	○	保育
2006	社会的養護Ⅰ	宮崎	○	保育
2008	教育の制度と社会	小久保	○	保育
2010	発達心理学Ⅱ	長櫓・平岡	○	保育
2011	幼児理解の理論と方法	長櫓	○	保育
2013	子どもの食と栄養	小野	○	保育
2014	特別支援教育	眞次	○	保育

2015	教育相談	長櫓	○	保育
2019	健康の指導法	濱田	○	保育
2020	人間関係の指導法	木戸	○	保育
2021	環境の指導法	大江	○	保育
2022	言葉の指導法	浅野	○	保育
2024	音楽表現の指導法	別府	○	保育
2025	造形表現の指導法	児玉	○	保育
2026	身体表現の指導法	濱田	○	保育
2032	幼児と表現	浅野・児玉・濱田・安久津	○	保育
2033	幼児と器楽表現Ⅰ 青木	片山	○	保育
2034	幼児と器楽表現Ⅰ 高須	高須	○	保育
2035	幼児と器楽表現Ⅰ 中田	中田	○	保育
2036	幼児と器楽表現Ⅰ 山	山	○	保育
2037	幼児と器楽表現Ⅰ 田中	田中	○	保育
2038	幼児と器楽表現Ⅰ 別府	横溝・別府	○	保育
2039	幼児と器楽表現Ⅱ 横溝	横溝	○	保育
2040	幼児と器楽表現Ⅱ 高須	高須	○	保育
2041	幼児と器楽表現Ⅱ 中田	中田	○	保育
2042	幼児と器楽表現Ⅱ 山	山	○	保育
2043	幼児と器楽表現Ⅱ 青木	青木	○	保育
2044	幼児と器楽表現Ⅱ 田中	田中	○	保育
2045	幼児と器楽表現Ⅱ 長岡	長岡	○	保育
2046	幼児と器楽表現Ⅱ 別府	野村・別府	○	保育
2047	幼児と歌唱表現Ⅰ	安久津	○	保育
2051	児童文化学	浅野	○	保育
2052	乳児保育Ⅰ	平岡	○	保育
2054	子どもの健康と安全	平岡	○	保育
2055	障がい児保育	眞次	○	保育
2057	子育て支援	眞次	○	保育
2059	保育実習Ⅰ (2)	宮崎・長櫓	○	保育

2062	保育実習法Ⅰ	宮崎・長櫓	○	保育
2066	教育実習	小久保	○	保育
2068	保育・教職実践演習	小久保・木戸・長櫓	○	保育
2069	総合演習 浅野	浅野	○	保育
2070	総合演習 木戸	木戸	○	保育
2071	総合演習 小久保	小久保	○	保育
2072	総合演習 児玉	児玉	○	保育
2073	総合演習 長櫓	長櫓	○	保育
2074	総合演習 濱田	濱田	○	保育
2075	総合演習 平岡	平岡	○	保育
2077	総合演習 松浦	松浦	○	保育
2078	総合演習 眞次	眞次	○	保育
2079	総合演習 宮崎	宮崎	○	保育
服飾美術 学科				
3002	アパレル総論	大原・岩崎・田鹿他	○	服飾美術
3007	服飾造形実習Ⅱ	乾・小野（華）	○	服飾美術
3010	服飾造形実習Ⅳ	乾	○	服飾美術
3011	パターンメイキング（CAD）Ⅰ	乾	○	服飾美術
3013	手工芸	高橋（敏）	○	服飾美術
3019	服飾材料学	道明	○	服飾美術
3020	服飾材料学実験	道明	○	服飾美術
3022	服飾人間環境学実験	佐藤（希）	○	服飾美術
3024	ファッション企画論	乾・他	○	服飾美術
3028	ビジネス基礎	岩崎・大原	○	服飾美術
3030	簿記論	増子	○	服飾美術
3031	マーケティング論	岩崎	○	服飾美術
3032	消費者行動論	岩崎	○	服飾美術
3034	マーケティング戦略論	岩崎	○	服飾美術
3037	地域産業論	田鹿	○	服飾美術
3038	まちづくり論	田鹿	○	服飾美術

3040	現代アート&デザイン史	趙	○	服飾美術
3043	現代芸術造形論	趙	○	服飾美術
3048	クリエイション演習	上村	○	服飾美術
3050	デザイン・アート論	上村・田中他	○	服飾美術
3051	美術史	大塚	○	服飾美術
3054	染織Ⅱ	田中	○	服飾美術
3055	染色	田中	○	服飾美術
3058	ビジュアルデザインⅢ	岡野	○	服飾美術
3059	ビジュアルデザインⅣ	梅野	○	服飾美術
3062	表現演習	稲葉	○	服飾美術
3064	ディスプレイデザイン演習	畠	○	服飾美術
3069	課題研究 乾	乾	○	服飾美術
3070	課題研究 岩崎	岩崎	○	服飾美術
3071	課題研究 上村	上村	○	服飾美術
3072	課題研究 大原	大原	○	服飾美術
3073	課題研究 佐藤	佐藤	○	服飾美術
3074	課題研究 田鹿	田鹿	○	服飾美術
3075	課題研究 田中	田中	○	服飾美術
3076	課題研究 趙	趙	○	服飾美術
3077	課題研究 道明	道明	○	服飾美術
3080	卒業研究 乾	乾	○	服飾美術
3081	卒業研究 岩崎	岩崎	○	服飾美術
3082	卒業研究 上村	上村	○	服飾美術
3083	卒業研究 大原	大原	○	服飾美術
3084	卒業研究 佐藤	佐藤	○	服飾美術
3086	卒業研究 田中	田中	○	服飾美術
3087	卒業研究 趙	趙	○	服飾美術
3088	卒業研究 道明	道明	○	服飾美術
専攻科・ 関連科目				
4004	スポーツ2	濱田	○	保育臨床専攻

4005	生活福祉論	宮崎	○	保育臨床専攻・服飾美術 専攻
4012	ビジュアルデザイン演習	ウォルトン	○	服飾美術専攻
4014	ドローイングⅡ	野村	○	服飾美術専攻
保育臨床 専攻				
5004	幼児の身体・運動遊び演習	濱田・小久保	○	保育臨床専攻
5005	幼児の劇遊び演習	浅野	○	保育臨床専攻
5006	音楽指導法特別演習Ⅰ	別府・野村	○	保育臨床専攻
5008	造形指導法特別演習Ⅰ	児玉	○	保育臨床専攻
5013	比較教育特論	小久保	○	保育臨床専攻
5018	保育・教育臨床心理学実践特論	長櫓	○	保育臨床専攻
5019	児童文化学特論	浅野	○	保育臨床専攻
5020	幼稚園体験活動	神崎	○	保育臨床専攻
5022	専門英語文献講読	松浦	○	保育臨床専攻
5025	小児の看護と保育	平岡	○	保育臨床専攻
5026	親子支援演習	木戸	○	保育臨床専攻
5027	子どもの音楽療法	安久津	○	保育臨床専攻
5028	障がい児保育特論	眞次	○	保育臨床専攻
5030	子育て支援実習	眞次	○	保育臨床専攻
5031	特別研究Ⅰ 浅野	浅野	○	保育臨床専攻
5032	特別研究Ⅰ 木戸	木戸	○	保育臨床専攻
5033	特別研究Ⅰ 小久保	小久保	○	保育臨床専攻
5034	特別研究Ⅰ 児玉	児玉	○	保育臨床専攻
5035	特別研究Ⅰ 長櫓	長櫓	○	保育臨床専攻
5036	特別研究Ⅰ 濱田	濱田	○	保育臨床専攻
5037	特別研究Ⅰ 平岡	平岡	○	保育臨床専攻
5040	特別研究Ⅰ 眞次	眞次	○	保育臨床専攻
5041	特別研究Ⅰ 宮崎	宮崎	○	保育臨床専攻
5044	特別研究Ⅱ 木戸	木戸	○	保育臨床専攻
5045	特別研究Ⅱ 小久保	小久保	○	保育臨床専攻

5046	特別研究Ⅱ 児玉	児玉	○	保育臨床専攻
5049	特別研究Ⅱ 平岡	平岡	○	保育臨床専攻
5051	特別研究Ⅱ 松浦	松浦	○	保育臨床専攻
5053	特別研究Ⅱ 宮崎	宮崎	○	保育臨床専攻
服飾美術 専攻				
6001	生活文化環境論	服美全教員	○	服飾美術専攻
6002	生活情報論	上村	○	服飾美術専攻
6004	服飾造形実技Ⅰ	藤原	○	服飾美術専攻
6006	服飾造形実技Ⅲ	江口	○	服飾美術専攻
6007	手工芸論	片山（佳）	○	服飾美術専攻
6011	被服生理学	佐藤	○	服飾美術専攻
6012	被服生理学実験	佐藤	○	服飾美術専攻
6014	アパレルコンピュータ論	道明	○	服飾美術専攻
6019	ブランド論	岩崎	○	服飾美術専攻
6022	アート&メディア論	趙	○	服飾美術専攻
6029	工芸染織	田中	○	服飾美術専攻
6030	染色実習	田中	○	服飾美術専攻
6033	ライフプロダクト演習Ⅰ	上村	○	服飾美術専攻
6037	産業研修Ⅱ	服飾美術学科全教員	○	服飾美術専攻
6038	特別研究Ⅰ 乾	乾	○	服飾美術専攻
6040	特別研究Ⅰ 上村	上村	○	服飾美術専攻
6042	特別研究Ⅰ 佐藤	佐藤	○	服飾美術専攻
6043	特別研究Ⅰ 田鹿	田鹿	○	服飾美術専攻
6044	特別研究Ⅰ 田中	田中	○	服飾美術専攻
6046	特別研究Ⅰ 道明	道明	○	服飾美術専攻
6049	特別研究Ⅱ 乾	乾	○	服飾美術専攻
6050	特別研究Ⅱ 岩崎	岩崎	○	服飾美術専攻
6051	特別研究Ⅱ 上村	上村	○	服飾美術専攻
6053	特別研究Ⅱ 佐藤	佐藤	○	服飾美術専攻
6054	特別研究Ⅱ 田鹿	田鹿	○	服飾美術専攻

6056	特別研究Ⅱ 趙	趙	○	服飾美術専攻
6057	特別研究Ⅱ 道明	道明	○	服飾美術専攻

5-1 授業評価 調査票

2025 後期 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生みなさんの学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的としています。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。なお、回答はすべて統計的に処理され、プライバシーが損なわれたり、本学での生活に不利益が生じたりすることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・授業評価への回答は、5～10分で終わります。
- ・授業評価への回答は自由意思によります。回答しなくとも不利益を被ることはありません。
- ・無記名でメールアドレスの収集もしないため、個人が特定されることは一切ありません。
- ・結果の管理は厳重に行い、保管する必要がなくなった時点で完全に破棄します。
- ・集計結果は、学内向けに公表する予定です。

倉敷市立短期大学 大学活動推進委員会

授業科目名：○○○○

科目番号：○○○○

回答期限：令和・年・月・日（ ）まで

(1) あなたは、この授業に意欲的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 意欲的に取り組んだ
2. どちらかというと、意欲的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、意欲的に取り組まなかった
5. 意欲的に取り組まなかった

(2) あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 積極的に取り組んだ
2. どちらかというと、積極的に取り組んだ
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、積極的に取り組まなかった
5. 積極的に取り組まなかった

(3) あなたは、授業を受けてみて、この分野への興味・関心が深まりましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 興味・関心が深まった
2. どちらかというと、興味・関心が深まった
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、興味・関心が深まらなかった
5. 興味・関心が深まらなかった

(4) 教員の話し方は、明瞭でわかりやすいものでしたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切だった
2. どちらかというと、適切だった
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、適切ではなかった
5. 適切ではなかった

(5) 授業の内容は、わかりやすく理解しやすかったですか。

(1 つだけマークしてください。)

1. わかりやすく理解しやすかった
2. どちらかというと、わかりやすく理解しやすかった
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、わかりにくく理解しにくかった
5. わかりにくく理解しにくかった

(6) 教員は、授業で能動的学修（グループワークや発表など）を取り入れていましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 取り入れていた
2. どちらかというと、取り入れていた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、取り入れていなかった
5. 取り入れていなかった

(7) 教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 適切に対応してくれた
2. どちらかというと、適切に対応してくれた
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、不適切な対応だった
5. 不適切な対応が多かった

(8) あなたは、この授業を通じて、知識や技能などを習得できましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 習得できた
2. ある程度習得できた
3. どちらともいえない
4. あまり習得できなかった
5. 習得できなかった

(9) あなたは、シラバスに記載されている到達目標を達成できましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 達成できた
2. ある程度達成できた
3. どちらともいえない
4. あまり達成できなかった
5. 達成できなかった

(10) あなたは、総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

(1 つだけマークしてください。)

1. 満足した
2. どちらかというと、満足した
3. どちらともいえない
4. どちらかというと、満足していない
5. まったく、満足していない

(11) この授業の方法や取り組みで、良いと思った点や改善点があれば書いてください。ただし、教員個人に対する誹謗中傷は、記入しないでください。

5-2 自己点検レポート

令和7年度後期授業評価：自己点検レポート

科目ごとに入力し、2月27日（金）までに回答を送信してください。回答内容のコピーは、回答者に送信されます。

科目番号

名前

科目名

(1) 前回と比較して、今回の授業評価結果について分析し、その結果を踏まえて、今後の授業改善に向けての具体的な取り組みを200字程度で記入してください。

(2) シラバスに記載された学修到達目標に対する学生の到達度の状況を100字程度で記入してください。

(3) 今回の授業評価の実施方法等に関する意見があれば、ご記入ください。

2026 年 9 月 30 日

倉敷市立短期大学 令和 7 年度 大学活動推進委員会

保育学科 : 松浦 加寿子, 宮崎 正宇

服飾美術学科 : 趙 採沃, 上村 晴彦, 田中 孝明

事務局 : 清水 綾子

編集担当 : 田中 孝明, 松浦 加寿子